

この群馬の片隅で

# もしもキセキが起きたなら

町がケーブルテレビと協働で送る、住民主演のまちドラマ  
11月4日から町ホームページに公開 ■ 問合せ先 役場企画課 ■ 47-5009

第1話の舞台は  
邑楽町

## お盆野球のキセキ

舞台となる邑楽町・館林市・明和町・千代田町の1市3町の住民が主演を務める「まちドラマ」。「キセキ(奇跡)」を共通のテーマに1話15分のストーリーを4Kカメラで撮影し、映像を通して、まちの魅力を世界へ発信します。第1話の町ホームページ公開を機に、出演した俳優の皆さんに話を聞きました。

会場が職場から近かったからという……。  
全員 (松原さんを見て) ふーん……。

と1つのソフトボールチームで選手を兼務です(笑)。

— 演じることに興味があった？

後藤 オーディションでは、自分に来るか、って不安になりました。だって、お姉ちゃんが勝手に応募していたんですよ。

— 地域に貢献したい、という思いと、何か新しいことに挑戦したいという気持ちで。

野村 はい。このメンバーの中で私だけ千代田町のお話に出ません。台詞も結構多い役をもらえたんです。せっかくだし、挑戦するんだし、出るからにはたくさん演技したいと思っていました。撮影はこれからのので、皆さんの話を参考にします。

後藤 私、野球できない。困ってた。って思っていたら、野球を嫌々やっている子の役だったので、素のままの私でいいのでは？って前向きになれました。

— いざ「撮影の日」。撮影を終えてみて。

松原 撮影スタッフがたくさんいて、ワンシーンごとに丁寧に撮影していくのが、まさにプロ。って感じで、女優のような扱いにうれしくなっちゃいました。撮影が終わらなければいいのにな、なんて(笑)。

野村 私、緊張するのかなあ。……感情を表現できたかな……。  
松原 そうね！ラストはみんな必死だったもの。見逃されたら悲しいわ。

— このドラマ制作の取り組みは、それぞれのまちの魅力をアピールしようとするものです。

松原 私、邑楽町民なのに、このドラマに出るまでお盆野球のこと知りませんでした(汗)。

— 撮影に向けて3回の演技トレーニング。

松原 最初のトレーニングで「まばたきをあまりしないでください」と言われたことは驚きました。

松原 私は……、オーディションが厳しいと後悔するかも。私……、オーディションが厳しいと後悔するかも。

— ドラマの舞台は、お盆野球。

松原 私、邑楽町民なのに、このドラマに出るまでお盆野球のこと知りませんでした(汗)。



▲1市3町のまちドラマに出演する皆さん(9月9日、制作記者発表で)



中野浩介役・松原正樹さん(地下13区)

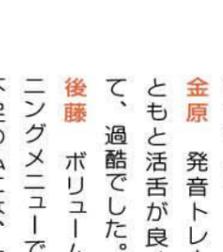
— いざ「撮影の日」。撮影を終えてみて。



中野浩介役・金原浩さん(館林町)

松原 やっぱラストシーンかな。金原さん、長い台詞を頑張っていましたもんね。

松原 私、邑楽町民なのに、このドラマに出るまでお盆野球のこと知りませんでした(汗)。



後藤 藤結衣さん(大井町10区)

— さて、第1話「お盆野球のキセキ」。見どころは？

松原 金原さんとシーンが考えただけで緊張しちゃって、前日はほぼ眠れませんでした。

金原 館林市のお話(第2話)も楽しみですが、邑楽町にたくさんさんの「キセキ」が起きることを願ってやみません。

— ドラマへの熱意、町への想いを抱いて出演した6人の活躍をぜひご覧ください。

11月4日(月)から町ホームページに公開

### もしもキセキが起きたなら



町ホームページトップ画面から  
▶行政情報▶まちづくり・地域▶まちドラマ



アクセスに便利なQRコードはこちら

※野村夢音さん出演の第4話(千代田町)は、12月に撮影予定。



どんなお話？  
教えて、栗原さん！  
まちドラマ  
エリアプロデューサー  
栗原 一美さん  
(明野・34区)

若い頃から出場していた町内対抗野球大会(通称「お盆野球」)に、体調を崩して出場できないことを嘆く父・浩司と、帰省した息子・浩介、母・美穂の家族(中野家)を中心に、お盆野球を取り巻くひと夏の物語です。私もちょっぴり出演しています(笑)。

撮影どうでした？  
教えて、藤橋監督！  
まちドラマ  
脚本/監督/編集  
藤橋 誠さん  
(埼玉県)

これまで取り組んできた同様の企画の中でも、特に「自分の生まれたまちで演じたい」「自分が住むまちが好きだ」という、熱い思いを持った俳優陣だと感じました。テイク数が増えても、めげることなくOKを出すまで演じ切ってくれた皆さんにむしろ感謝です。

撮影は町内の至る場所で(写真は鶺鴒農村広場)▶